

小さい春を見つけました♪

冷たい強風の日も多く、防寒着を手放せない日もありますが、少しずつ、春の訪れを感じます。
多世代交流館で水仙が咲いていました。小さな蜂が蜜を求めて花の周りを飛んでいました。

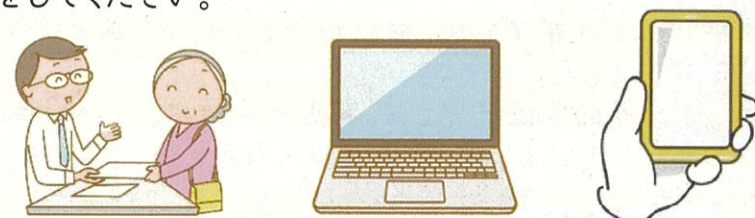


まゆの会ソーパークーピング
水仙・チューリップ

オンラインで利用予約できるようになります

多世代交流館利用予約はこれまで、窓口での申し込みとしてきましたが、オンラインでの申込みを開始します。利用に際し、書面で団体登録を必要としますが、登録後はPC・スマホからの申し込むことで施設予約ができます。併せて予約状況の確認も可能です。3月23日には予約システムについての説明会を行い、オンライン予約が本格開始となります。

これまで同様、窓口での予約申込みも、可能ですので、ご都合に合わせた方法で利用申込みをしてください。

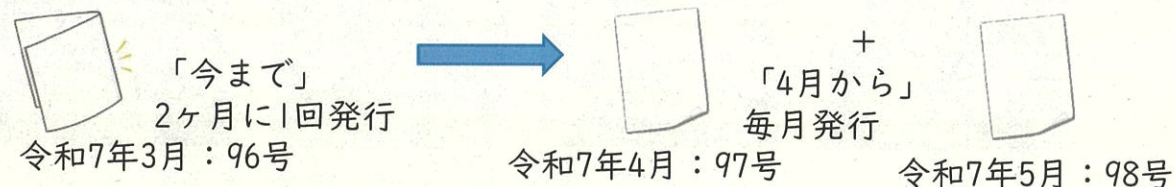


予約方法が 窓口 + PC + スマホ の3通りになります

公民館への予約は事前に文書での団体登録と審査が必要です
ご相談ください

大間々公民館だよりが隔月→毎月発行になります

これまでA3用紙二つ折りで配布してきた「大間々公民館だより」ですが、次号97号からはA4用紙となります。併せて隔月（奇数月）発行を毎月発行へと増刊し、鮮度の高い記事を発信していきます。



Instagramでも
当誌の関連記事を更新しています
多世代交流館や大間々公民館の最新情報が入りやすくなる「フォロー」を
よろしくお願いします！



大間々町人口 [令和7.2月末日]		(市全体)
男(人)	8,378	23,946
女(人)	8,753	24,434
合計(人)	17,131	48,380
前月比(人)	△79	△90
世帯数	8,029	21,491

次号の「おおま公民館だより」は令和7年4月18日発行予定です

おおま 公民館 だより

令和7年3月21日
第96号
発行：みどり市大間々公民館
〒376-0115
みどり市大間々町塩原363
(みどり市多世代交流館内)
電話：0277-76-2310
FAX：0277-72-4312
Eメール：okouminkan
@city.midori.gunma.jp

バラエティに富んだ様々な体験を楽しみました！



プロの能楽師が能の舞をレッスン
みんな真剣です



よい香りに包まれながら
ブーケづくり



大間々公民館のイベントではおなじみになってきた和菓子づくり
今回も人気でした

2月9日（日）、多世代交流館全館を使い「ワークショップコレクションin多世代交流館」を行いました。このイベントは多くの市民の皆さんが多世代交流館内で生涯学習に関する様々な体験・実演見学をできる機会を設けたもので、普段お世話になっている講師陣や公募の団体などを合わせて19もの体験や展示がありました。

用意されたワークショップの内容は多彩で、様々なものづくりのほか、日本舞踊や能、社交ダンスやヒップホップなど古今東西のダンス、ドローンや3Dプリンタといった最新テクノロジーの展示もありました。

当日の朝は雪でしたが、スタートからたくさんの方に来館していただき、めいめいお目当ての体験教室をあれもこれもとはしごしながら楽しそうに受講していました。



3Dプリンタの動きに興味津々

ワークショップ コレクション in多世代交流館



鹿革のキーホルダーづくり
ハンマーで思い思いの文字を刻印しています



ドローンの空撮で多世代交流館上空からのリアルタイム映像に見入ってます

日本酒を楽しみながら学ぶ



2月15日（土）みどり市の地酒講座の第3回目が行われました。

お米作りからアプローチした第1回、そのお米をお酒に変える第2回、そしてお酒を味わう第3回です。

まず座学では近藤酒造の近藤社長を講師に、お酒の文化や楽しみ方をテーマにお酒の磨きやラベル見方などを説明していただきました。

次に、地元でそば処を営んでいた星野さんを講師に、お酒に合うおつまみの調理実習を行いました。メニューはくるみ豆腐と治部煮です。

参加者の皆さんは和気あいあい協力しあって楽しそうに料理していました。

最後に（というか料理しながら）お酒の試飲として近藤社長にお酒を3種類用意していただき、それぞれ好みを語りながら味わいました。

デジタル化とのほどよい付き合い方を考える

3月8日（土）みどり市笠懸公民館において、みどり市公民館大会が行われました。

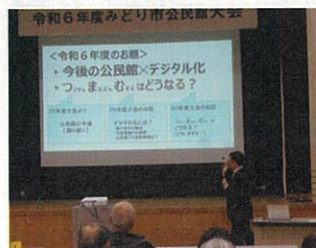
テーマは「デジタル化で公民館の『つ・ま・む』はどうなる？」です。

「つ・ま・む」とは、公民館の基本的役割「つどう（＝仲間同士が気軽にあつまる）」「まなぶ（＝講座や講演会など）」「むすぶ（各種団体やボランティア活動との連絡・連携）」の頭文字をとったものです。

大会は、前橋市のデジタルデバインド（情報通信技術を利用できる人とできない人との格差）対策を担当する傍ら群馬大学で兼任講師をされている茂木勇先生の基調講演と参加者同士が話し合う分散会の二部構成で行われました。

時代やテクノロジーの発展からデジタル化が進む中で、公民館でもコロナ禍をきっかけにデジタル化が大いに進みました。

反面「つ・ま・む」とデジタルは相性がよいものではなく、日頃公民館を利用している方々からは不満や不安の声も聞かれ、人と人とのつながりそのものである公民館の特性を踏まえた、デジタルのと上手な付き合い方が求められました。



菌ちゃん農法による無農薬野菜づくり講座レポート



2月24日（月）、大間々公民館、農林課、桐生地区農業指導センター共催事業で「菌ちゃん農法による無農薬野菜づくり講座」を行いました。会場は大間々町の諸町市民農園で実地、8区集会所です。

講師は「菌ちゃん先生」こと吉田俊道先生です。

木材や草など自然にある物を使い、土壌微生物の力を活用した無農薬・無施肥の「菌ちゃん農法」。第1回目では土づくりを学びました（全3回で第2回第3回は来年度実施予定）。

プランターコース、畝づくりコースの2コースがあり、それぞれ30名の定員いっぱいまで応募があり、野菜を無農薬の土で作りたいと考えている参加者が集まりました。



サークル紹介コーナー

「塩原太極拳サークル」



太極拳を練習しています。

呼吸を大切にし、身体の内面を鍛えます。拳法ですので、戦いを想定した形ですが、老若男女にも参加しやすく整備されており、健康維持を目的に始める方が多いそうです。

その動きはゆっくりですが、息を吸う、吐くを強く意識することで、全身に意識を巡らせます。一通りをこなした後はいい汗をかけるということです。



子育て支援、お母さんの小物作りで癒やしの時間



3月5日（水）、子育て支援センターと・と・ろの家さん主催「ビジュアル・バリウム教室」を行いました。

飾りつけたレジン玉を小瓶に詰めて専用オイルで満たす作業ですが、材料が小さいので、慎重に作業していました。

その間は託児して、育児から離れ、自分の時間に集中していました。気分転換になるといいですね(^o^)

味噌づくり作業を見学させていただきました

味噌づくりをするグループが食品加工室を利用する姿を見かけるようになりました。

大釜で大豆を煮る匂いが漂ってきて、食欲を刺激します。

麴を混ぜて、寝かした後に花が咲くのを待つのがわくわくします。

味噌作りはこの季節ならではの行事ですね。



雪景色も見納めですね

この冬は、日本海側からの寒波の影響も少なく、2月9日（日）3月5日（水）の降雪もお昼には概ね溶けてなくなっていました。

当館北の赤城山山頂部が白く積雪し、冷たく強い風が吹き、周りの山々は緑が落ちて寂しい風景でしたが、昨年植えたパンジー、ビオラ、ガーデンシクラメン等、寒さに強い花が色とりどり綺麗に咲いており、心が癒やされました。これから暖かくなり、新たな草花を楽しめるのが楽しみです。（^o^）

